

事業報告書

1. 件名：台風15号、17号による千葉県の被害に係る災害復旧支援活動
2. 期間：2020年7月1日（水）～2020年7月31日（金）
3. 場所：千葉県鋸南町を中心とした南房総地域
4. 目的：地域における復旧・復興活動の促進、および地域の担い手の育成支援
5. 概要：
 - ① 被災家屋の屋根等応急修理
 - ② 2次被害防止のための瓦の撤去等
 - ③ 地域における担い手の育成
 - ④ 上記①～③に係るニーズ調査や地域との調整等
6. 内容：

（1）活動内容

活動日数と対応件数、および活動参加者数

活動日数	23日	対応件数	38件	参加者数	69名
------	-----	------	-----	------	-----

今回の活動では、昨年度コミサポひろしまと活動を共にし、その後、地元青年により設立された「Revive」をサポートする形で活動を実施した。

災害から半年以上が経ち、劣化によりブルーシートの張替が必要な案件、取り残されていた被災者からの案件等、発災当初とは異なるニーズが多数寄せられた。また、時間の経過とともに、屋根の応急修理ができる団体の多くが撤退し、ボランティアについても少ない状況の中での活動であった。

そのような状況の中、コミサポでは過去の被災地の経験から、今後も屋根の応急修理依頼は継続的に発生すると考え、Reviveに様々なケースでの技術的経験を還元することを念頭に、台風シーズン前に可能な限りニーズに応える形で活動を実施した。

7. 活動の効果（成果）

- （1）直接的な応急修理を通じた、雨漏り等2次被害防止とお被災者の生活環境の確保。
- （2）地域の担い手となる団体「Revive」に対する技術・経験の還元を通じた、地域の担い手育成
- （3）生活ニーズ、見守りが必要な被災者等について、鋸南町社協をはじめ、関係団体への引継ぎを通じた被災者生活支援

8. 活動対象となった住民の声

活動を実施した世帯の皆さんからは多くの声を頂いていますが、以下、抜粋して記載します。

「ブルーシートをかけたけど、雨漏りがやまずに凌いできたけど、これで安心して休めます」（高齢女性）

「こんな家にはなってしまったけど、私が育った家だから、こうやって治してもらいありがとうございます。」（高齢男性）

9. 今後の活動について :

具体的な活動については予定していないものの、「Revive」を中心として連携する地元団体と情報共有し、必要によって助言を行うなどサポートを継続して実施します。

また、屋根の被害の復旧には数年を要することが予想されることから、今後の他被災地での活動を踏まえ、可能な範囲で応援を実施します。

10. 協力団体 :

Revive、ピースポート災害ボランティアセンター、鋸南町社会福祉協議会、ADRA Japan 等

活動写真 :



日時が経過して劣化したブルーシート



手慣れた手つきで活動するReviveメンバー



室内のカビ等への対応



Reviveメンバーとの協働



昨年に養生したシートも健在



作業風景